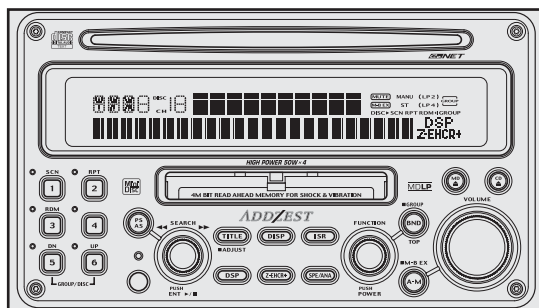
ADDZEST

2DIN CD/MDセンターユニット

DMZ545LP/ DMZ545BK

取扱説明書

MDLP

このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●保証書（別添）はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●この取扱説明書には、本機で操作するCD/MD/DVDチェンジャー、TVチューナーの操作説明も含まれています。CD/MDチェンジャー、TVチューナーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目　次

はじめに

本機の操作

■各部の名称とはたらき

■基本の操作

■ラジオ放送を聴く

■CD/MDを聴く

■グループ編集MDを聴く

■タイトルをつける

■設定を変更する（アジャストモード）

はじめに
本機の操作
外部機器の操作
その他

次ページに続く

目　次

外部機器の操作

■CD/MD/DVDチェンジャーを操作する

■テレビを見る

■その他の外部機器を操作する

その他

主な特長

本機は、AM/FMラジオとMDデッキ、CDデッキを内蔵し、別販のDVD/CD/MDチェンジャーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の2DINセンターユニットです。

■メッセージインフォメーション機能

- スクリーンセーバーとしてお好みに合わせてディスプレイに表示可能(英・数・カナ30文字)

■MDLP再生機能 MDLP

- 本機は、2倍モードで160分、4倍モードで320分もの連続再生ができる(80分MD使用時)MDLP再生機能を搭載しています。
- グループ編集MD再生機能

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MDプレーヤー部

- CDテキスト表示が可能
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- リピート/スキャン/ランダム機能

■マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■Z-エンハンサープラス/DSP機能

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITE、の3パターンの音質効果をメモリーし、お好みの音質を即座に設定できます
- 2バンド(LOW/HIGH)のパラメトリックイコライザーにより周波数帯域毎に、お好みの音質に調整することが可能です
- 5種類のベーシックパターンから選べるデジタルサウンドプロセッサー(DSP)機能

■タイトル入力/表示機能

- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名、グループ名または曲名を表示

■携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- ポータブルMDやDVD等が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

主な特長

■リモートコントロ―ラー対応

・別販のリモコンで主なオーディオ操作が可能

■CeNET (Clarion Entertainment Network：シーイーネット)結線対応

・外部機器との結線に、CeNET方式を採用。インダッシュTV、TVチューナー、CDチェンジャー、MDチェンジャー、DVDチェンジャーが操作できるコントロール機能
・チェンジャーは、合計2台まで接続可能
※DVDチェンジャーについては、簡易コントロールのみ可能。詳細機能についてはDVDチェンジャーに付属のリモコンでコントロール

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指のけがに注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

- 安全のため、ご使用の前に「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

ご使用の前に

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠ 警告

●走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。

●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

専門技術と経験が必要です。

⚠注 意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●ディスク挿入口に指を入れない…
ケガの原因となることがあります。

●ディスク挿入口に異物を入れない…
火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない…
感電やケガの原因となることがあります。

●音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…
事故や火災、感電の原因となることがあります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●電源を切るときは、音量を最小にする…
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

●本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

表示画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「**エラー表示について**」(66ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDまたはMDの演奏について

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

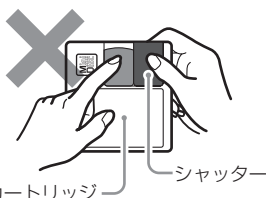
●8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

MDについて

 マークのついたMDをご使用ください。

■取扱い上のご注意

●直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。

●MDのシャッターを手で開けないでください。

●ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。
そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■お手入れ

●カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

CDについて

 または マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

●CD-ROMは、本機では使用できません。

●CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。

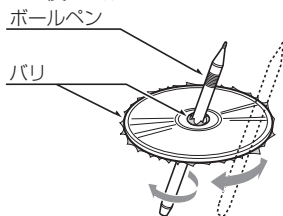
■取扱い上のご注意

●CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。

●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。

●レーベル面(印刷面)や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。

●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン

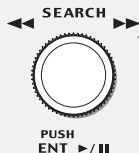
ダイレクトボタン
- ラジオ時には、放送局をメモリーして直接呼出します。

SCN 1 スキャンボタン
- CD/MDモードに、約10秒間ずつスキャン演奏します。

RPT 2 リピートボタン
- CD/MDモード時に、繰り返し演奏します。

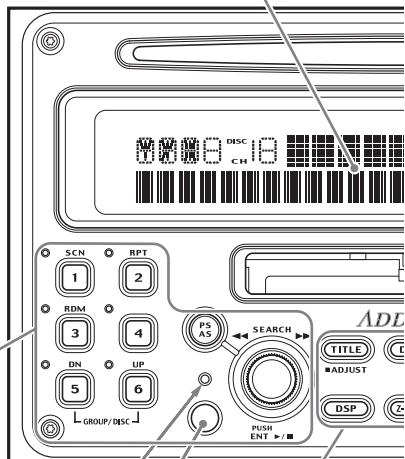
RDM 3 ランダムボタン
- CD/MDモード時にランダム演奏をします。

DN 5 UP 6 アップ/ダウンボタン
- グループ編集MD時にグループを切り換えます。

プリセットスキャンボタン
- ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

サーチノブ(左右に回す)
- ラジオモード時は選局に使います。
- CD/MDモード時には選曲に使います。回し続けると早送り/早戻しを行います。

サーチノブ(中央を押す)
- CD/MDモードは、演奏の一時停止をします。また、各種設定の決定をします。

サーチノブ/ファンクションノブの操作について

- 操作説明における『ノブを回す』は、ある角度まで回して指をはなす操作です。
- 『サーチノブを回し続ける』は、ある角度まで回してその状態を(指定時間)保持する操作です。

TITLE ■ADJUST タイトルボタン
- ラジオの名称や、CDモード時のディスクタイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。
- 押し続けて各種の設定や調整をするときに使います。(アジャストモード)

DSP DSPボタン
- DSPモードを選択します。

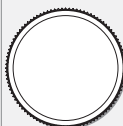
DISP ディスプレイボタン
- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続ける(約1秒間)とユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

CDイジェクトボタン

- CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。

MDイジェクトボタン

- MDが入っているときに押すと、MDがイジェクトされます。

VOLUME

ロータリーボリューム

- 右または左へ回して、音量を調整します。
- アジャストモード時には、各種の設定に使います。

TOP

バンドボタン

- ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て自動選局か手動選局に切り換えます。
- CD/MDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- グループ編集MD再生時は、押し続けるとグループ機能をON/OFFします。

■M-B EX

A-M

オーディオモードボタン

- 音質とバランス/フェダーを調整します。
- 押し続けると(約1秒間）マグナベースEX機能をON/OFFします。

ファンクションノブ

- 押して電源を入れ、押し続け(約1秒間)て電源を切ります。
- 右または左へ回してモードを切り換えます。

Z-EHCR+ Zエンハンサーボタン

- 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。またお好みに合わせて調整できるカスタム機能を備えています。

ISR ISRボタン

- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

SPE/ANA スペアナボタン

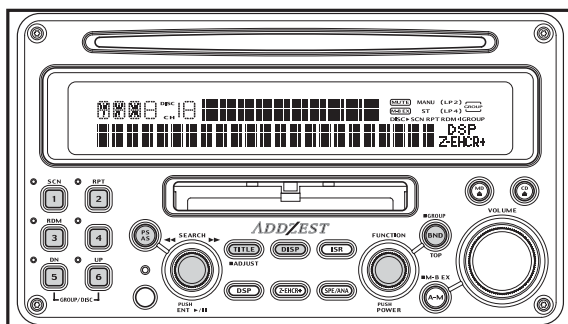
- スペアナパターンを切り換えます。
- 押し続ける(約1秒間)と、ディスプレイ部の表示を消灯することができます。（ディスプレイオフモード）

  元に戻すには、スペアナボタンまたはディスプレイボタンを押します。

■商品イラストについて

本書における商品イラストは、簡素化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字を一部省略しています。

各部の名称とはたらき

外部機器を操作するボタン

ダイレクトボタン

- TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。

SCN 1

スキャンボタン

- チェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。

RPT 2

リピートボタン

- チェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。

RDM 3

ランダムボタン

- チェンジャーモード時にランダム演奏をします。

DN UP

アップ/ダウンボタン

- チェンジャーモード時は、ディスクを切り換えます。

PS AS

プリセットスキャンボタン

- TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

◀◀ SEARCH ▶▶

PUSH ENT ▶/❚❚

サーチノブ(左右に回す)

- TVモード時は選局に使います。
- チェンジャーモード時には選曲に使います。回し続けると早送り/早戻しを行います。

サーチノブ(中央を押す)

- チェンジャーモード時は、演奏の一時停止をします。

TITLE ■ADJUST

タイトルボタン

- TV局の名称や、CDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、MDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使います。

DISP

ディスプレイボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。
- 押し続けると(約1秒間)ユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

FUNCTION

PUSH POWER

ファンクションノブ

- 押して電源を入れ、押し続け(約1秒間)で電源を切ります。
- 右または左へ回してモードを切り換えます。

■GROUP

TOP

バンドボタン

- TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)で自動選局か手動選局に切り換えます。

システムチェック時のディスプレイ表示

■システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。

ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されます。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

電源ON/OFF時のディスプレイ表示

ファンクションノブを押す

電源をOFFしたときのモードを表示します。

ファンクションノブを回す

モードを切り換える

ファンクションノブを右または左へ回すたびに、次のように切り換わります。(以下の表示は一般的な接続例を示します。)

●ラジオモード

TUNE 3 FM1 83.0 DSP

●CDモード

CD T01 00:01 DSP

●MDモード

MD 01 T01 00:01 DSP

●CDチェンジャーモード(接続時)

CD-1 1 T01 00:01 DSP

●AUXモード

AUX AUX DSP

ファンクションノブを押し続ける(約1秒間)

(時計表示状態で電源をOFFした場合)

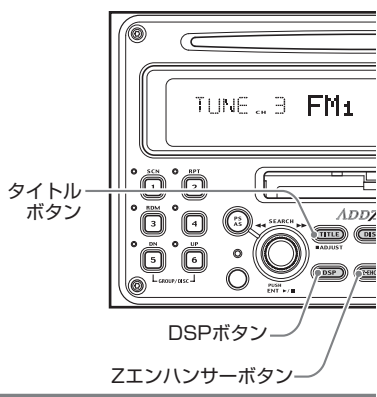
PM 8:06

本機の操作

各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示

消音する(ミュート)
※リモコン(RCB-168、
別販)使用時
リモコンの
ミュートボタンを押す
TUNE ch 3 FM1 83.0 MUTE
DSP
設定する(アジャストモード)
タイトルボタンを
押し続ける(約1秒間)
TITLE
■ADJUST
サーチノブを右または左へ回して調整項目を選び、ロータリーボリュームを回して調整内容を設定します。
(46~53ページ)
●時計の設定 (CLOCK) (26ページ)
ADJ CLOCK
DSP
タイトル
ボタンを押す
●スクリーンセーバーの設定 (SCRN SVR)
●スクリーンセーバーメッセージの入力 (MSG INPUT)
●タイトルスクロール方法の設定 (AUTO SCRL)
●ディマーレベルの設定 (DIMMER)
●スペクトラムアナライザーの感度設定 (S/A SENS)
●スペアナ表示の速さを設定 (S/A SPEED)
●ビープ音の設定 (BEEP)
●チューナーエリアの設定 (TUN AREA)
●TVエリアの設定 (TV AREA)
●TV受信時の主音声/副音声の設定 (MAIN/SUB)
●TVダイバーの設定 (TV DIVER)
●携帯用オーディオの入力レベルを設定 (AUX SENS)
83.0
DSP
ディスプレ
イボタン
オーディオモード
ボタン
スペアナを切り換える
スペアナボタンを押すたびに切り換わります。
●パターン1
TUNE ch 3 FM1 83.0
DSP
●パターン9
●スペアナオフ
(33ページ)
SPE/ANA
スペアナ
ボタンを押す

本機の操作

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示

■ラジオ/TVモード時の表示

■CD/MDモード時の表示

(LP2)：LP2モードMD再生時点灯
(LP4)：LP4モードMD再生時点灯
GROUP：グループ機能ON時点灯
SCN：スキャン演奏のときに点灯
RPT：リピート演奏のときに点灯
RDM：ランダム演奏のときに点灯
◀GROUP：グループスキャン/グループリピート/グループランダム演奏のときに点灯

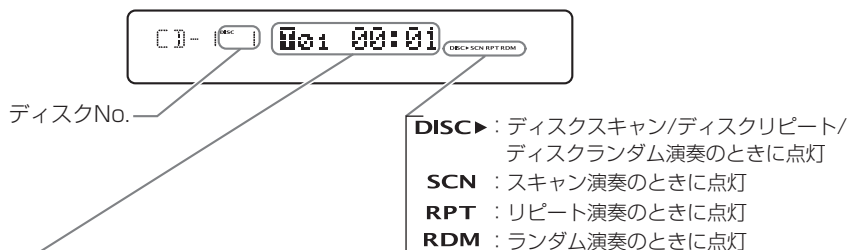
- メイン表示選択時に表示
  01 T 03 00:00 グループNo./【トラックNo/ファイルNo./リストNo.】/演奏時間表示(分、秒)
- タイトル表示選択時に表示
  DISTANCE：CDにおけるユーザータイトル表示
  CDテキスト再生時に、表示モード切り換えるたびに、ユーザータイトル、 ディスクタイトル 、アーティスト名、トラックタイトルの表示をします。また、MD再生時は、表示モード切り換えるたびに、ディスクタイトル 、グループタイトル、トラックタイトルの表示をします。
  U NO TITLE：CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
  NON GROUP：グループタイトル表示におけるNON グループ再生時に表示
  NO GROUP：グループタイトル表示における通常のMD再生時に表示
- 選曲切換時に表示(約2秒間)
  (CD/MD再生時)
  TRACK SCAN：スキャン演奏選択時
  TRACK RPT：リピート演奏選択時
  TRACK RDM： ランダム演奏選択時
  (グループ編集MD再生時)
  GROUP SCAN：グループスキャン演奏選択時
  GROUP RPT：グループリピート演奏選択時
  GROUP RDM：グループランダム演奏選択時
- その他の表示
  NO DISC：ディスクがないとき
  ERROR 2：エラー発生時
  PAUSE：演奏一時停止時
  GROUP ON：グループ機能ON
  GROUP OFF：グループ機能OFF
  GROUP READ：グループ情報読込み中(MDモード)

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

■CD/MDチェンジャーモード時(接続時)の表示

ディスクNo.

DISC▶：ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏のときに点灯
SCN：スキャン演奏のときに点灯
RPT：リピート演奏のときに点灯
RDM：ランダム演奏のときに点灯

• メイン表示選択時に表示

01 T 03　00:00：ディスクNo./トラックNo.と演奏時間を表示

• タイトル表示選択時に表示

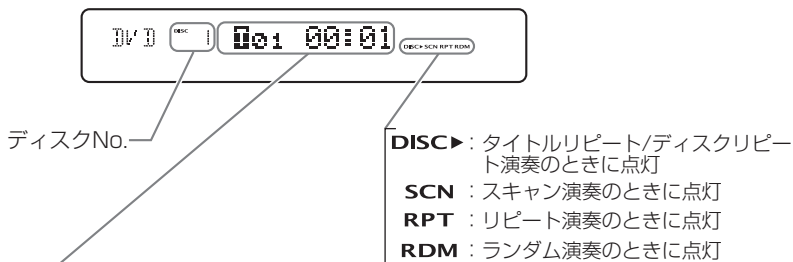
DISTANCE（入力例）：ユーザータイトル等を表示
U NO TITLE：CDにおけるユーザータイトル未設定のとき
D NO TITLE：CDテキスト対応でないCD/タイトル入力されていないMD演奏時にディスクタイトル表示を選択したとき
A NO TITLE：CDテキスト対応でないCD演奏時にアーティスト表示を選択したとき
T NO TITLE：CDテキスト対応でないCD/タイトル入力されていないMD演奏時にトラックタイトル表示を選択したとき

• 選曲切換時に表示(約2秒間)

TRACK SCAN：スキャン演奏選択時
DISC SCAN：ディスクスキャン演奏選択時
TRACK RPT：リピート演奏選択時
DISC RPT：ディスクリピート演奏選択時
TRACK RDM：ランダム演奏選択時
DISC RDM：ディスクランダム演奏選択時

• その他の表示

ERROR 2：エラー発生時
PAUSE：演奏一時停止時
DISC CHECK：ディスク診断時
NO DISC：ディスクがないとき
NO MAG：チェンジャーにマガジンがないとき

■DVDチェンジャーモード時(接続時)の表示

- メイン表示選択時に表示

01C03 00:00：ディスクNo./【トラックNo.チャプターNo.】/再生時間表示(時、分)

- タイトル表示選択時に表示

DVD VIDEO　：DVD再生時
VIDEO CD　：ビデオCD再生時
CD　：CD再生時
MP3　：MP3再生時

- 選曲切換時に表示(約2秒間)

TRACK SCAN　：スキャン演奏選択時
DISC RPT　：ディスクリピート演奏選択時
TRACK RPT　：リピート演奏選択時
C-SCAN　：チャプタースキャン選択時
TRACK RDM　：ランダム演奏選択時
TITL RPT　：タイトルリピート選択時
C-REPEAT　：チャプターリピート選択時
♪-SCAN　：スキャン演奏再生時
♪-REPEAT　：リピート演奏再生時
♪-RANDOM　：ランダム演奏再生時
📁-SCAN　：フォルダスキャン演奏再生時
📁-REPEAT　：フォルダリピート演奏再生時
📁-RANDOM　：フォルダランダム演奏再生時

- その他の表示

DVD MENU　：DVDメニュー選択時
ERROR P
ERROR R　：エラー発生時
PAUSE　：演奏一時停止時
DISC CHECK　：ディスク診断時
NO DISC　：ディスクがないとき
NO MAG　：チェンジャーにマガジンがないとき

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-168)の使いかた

モードを選ぶ
ファンクションボタン

●電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → MD → (CDチェンジャー) → (MDチェンジャー) → (DVDチェンジャー) → (TV) → AUX → ラジオ

●押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する
▲▼(ボリューム)ボタン

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える
バンドボタン

●最初の曲から演奏します。(CD/MDモード時)

●受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する
バンドボタン

●次のCD(またはMD)を演奏します。(チェンジャーモード時)

音を消す
ミュートボタン

●ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す
ISRボタン

●モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。

●ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続けます。(約2秒間)

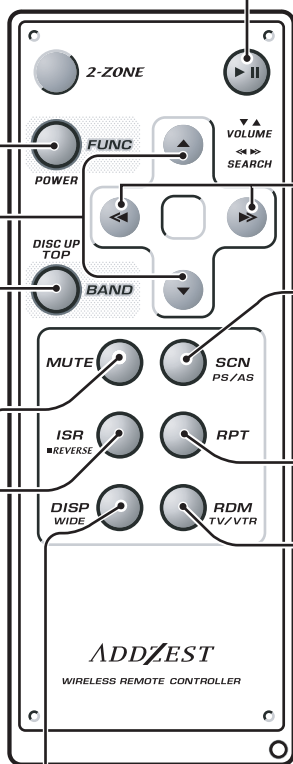
●元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

※2-ZONEボタン
本機では使用しません。

表示を切り換える
ディスプレイボタン

●次のように表示を切り換えます。
メイン表示 → タイトル表示 → 時計表示 → メイン表示

●タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。

- CDテキスト再生時は、ユーザータイトル→ディスクタイトル→アーティスト名→トラックタイトルを切り換えます。
- MD再生時は、ディスクタイトル→グループタイトル→トラックタイトルを切り換えます。

演奏する
▶/II (プレイ・ポーズ)ボタン

●演奏と一時停止をします。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)

選曲する/選局する
≪ ≫ サーチボタン

●押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TVモード時)

曲を探す/放送局をプリセットする
スキャンボタン

●スキャン演奏します。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(チェンジャーモード時)
グループ編集MD再生時は、グループスキャン演奏をします。
●プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)
●また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)
●解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

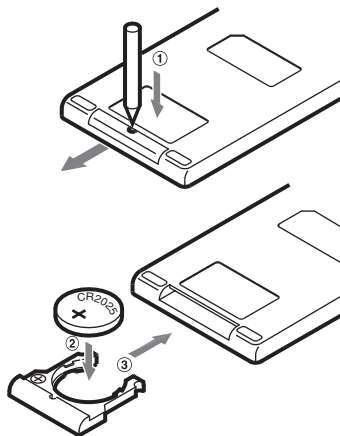
繰り返し演奏する
リピートボタン

●繰り返し演奏します。
(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(チェンジャーモード時)
グループ編集MD再生時は、グループリピート演奏をします。
●TVモード時にステレオ/モノラルに切り換えます。
●TVモード時に押し続ける(約1秒間)とMAIN/SUBに切り換えます。(2ヵ国語)
●解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える
ランダムボタン

●ランダム演奏します。(CD/MDモード、チェンジャーモード時)
●押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(チェンジャーモード時)
グループ編集MD再生時は、グループランダム演奏をします。
●TVモード時にTVをVTRに切り換えます。
●解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。

■電池の入れかた

①リモコンを裏返し、先のとがった物で、ふたを矢印の方向に押しながら引き出します。
②電池(CR2025)を図のような向きにして入れます。
③「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。

⚠警 告

事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注 意

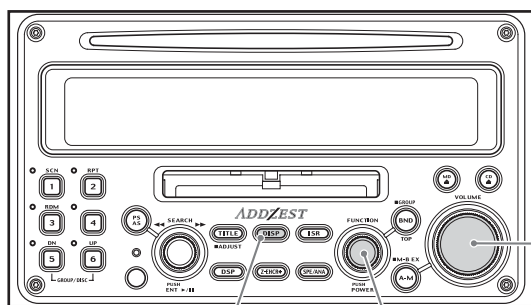
使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

・指定電池以外は使用しない。
・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

ご注意

•リモコンではグループ機能のON/OFF切り換えはできません。

本機の操作

基本の操作

電源を入れる

システムチェックについて…
本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れるとディスプレイに"**SYS CHECK**"が表示されますので、ファンクションノブを押してください。本機の内部で、システムチェックが始まります。システムチェックが終わると、電源OFFの状態になりますので、もう一度ファンクションノブを押してください。(詳しくは15ページをご覧ください。)

1 ファンクションノブを押す

FUNCTION

PUSH
POWER

→前回の操作終了時のモードが表示されます。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…
ファンクションノブを押し続け(約1秒間)てください。

モードを選ぶ

1 ファンクションノブを回す

FUNCTION

→右または左へ回すたびに、次のように切り換わります。接続している機器のモードを表示します。

ラジオ↔CD↔MD↔(CDチェンジャー)
↕ ↕
AUX↔(TV)↔(DVDチェンジャー)↔(MDチェンジャー)

音量を調節する

1 ロータリーボリュームを回す

→右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。

⚠注 意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

表示を切り換える

1 ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ

DISP

→押すたびに、次のように切り換わります。

ご注意

電源OFFの状態で時計表示にしておきたいときは、ディスプレイボタンを押して、時計表示にしてから電源をOFFにしてください。

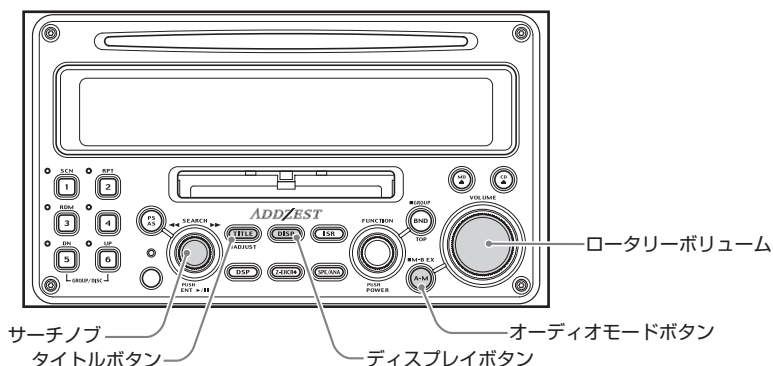
スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「**SS ON**」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは47ページをご覧ください。

■*ディスプレイ表示を消すには…*

スペアナボタンを押し続け（約1秒間）てください。

→ディスプレイの全ての表示が消えます。
ディスプレイを消灯することにより、表示用のデータ送信等に起因したノイズを抑制し、音質を向上させることができます。
元の表示に戻すときは、スペアナボタンあるいはディスプレイボタンを押してください。

▌基本の操作

時刻を合わせる

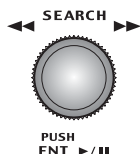
時計表示について…
本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

TITLE
■ADJUST

→タイトル表示部に前回調整した項目名(**CLOCK E** 等)を表示して、アジャストモードになります。

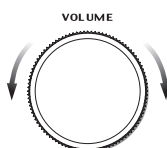
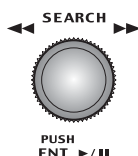
2 サーチノブを回して、「**CLOCK E**」を選ぶ

3 サーチノブを押す

→時刻(「**AM 1:15 E**」等)を表示して、時刻設定モードになります。

• 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチノブを回して、時または分を選ぶ

• 点滅している項目を調整できます。

5 ロータリーボリュームを回して、時刻を合わせる

6 サーチノブを押す

→「**CLOCK E**」を表示して時刻が設定されます。

ご注意

点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう1度時刻合わせをしてください。

7 タイトルボタンを押して元のモードに戻る

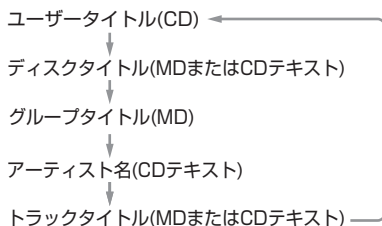
タイトル表示を切り換える

タイトル表示について…

CDテキスト及びMD再生時は、ディスクに登録されているディスクタイトル、トラックタイトル、グループタイトル(MDのみ)、アーティスト名(CDテキストのみ)をディスプレイに表示します。

1 タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

DISP

→ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて…

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCRL)(48ページ」で選択したスクロール方法に従い表示します。

- 「**ON**」 : 自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- 「**OFF**」: タイトルボタンを押すとスクロールします。

1 タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す

TITLE
■ADJUST

→タイトルが左にスクロールし、タイトルの末尾まで表示すると、最初の10文字表示に戻ります。

ご注意

CDモード、CDチェンジャーモードで「USER TITLE」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

重低音をON/OFFする(マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときには…

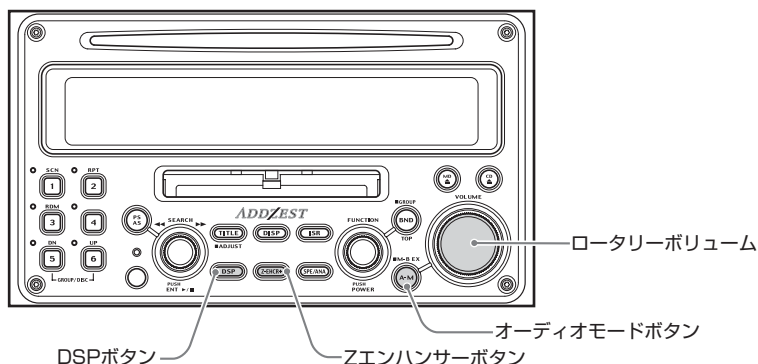
小音量でお聴きになるときには、低音を強調するマグナベースEXの自然な音質をおすすめします。

1 オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)

■M-B EX

→ONになると、「M-B EX」が点灯します。

■マグナベースEXをOFFするには…

もう1度、オーディオモードボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

音質を簡単に設定する (Zエンハンサープラス機能)

Zエンハンサープラス機能について…

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

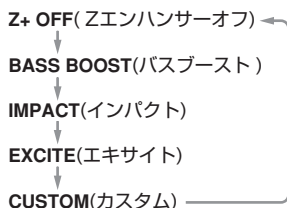
- **BASS BOOST**：低音を重視したサウンド
- **IMPACT**：低音と高音を強調したサウンド
- **EXCITE**：低音と高音を更に強調したサウンド

※初期設定は「**Z+ OFF**」です。

1 Zエンハンサーボタンを押す

Z-EHCR+

→ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

Z+ OFF(Zエンハンサーオフ)
↓
BASS BOOST(バスブースト)
↓
IMPACT(インパクト)
↓
EXCITE(エキサイト)
↓
CUSTOM(カスタム)
（Z+ OFFに戻る）

■カスタムついて(CUSTOM)…

カスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

「音質を調整する(バス/トレブル)」(30ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

■Zエンハンサーオフについて (Z+ OFF)…

Zエンハンサーオフ(**Z+ OFF**)は、原音のままお聴きになりたいときにご使用ください。

DSPメニューを選ぶ

DSP機能について…

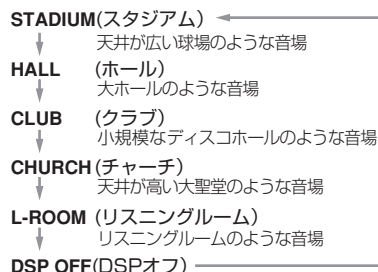
DSP(デジタルサウンドプロセッサー)は、デジタル信号の処理により、音を劣化させずにサウンド効果を車室内でシミュレーションしてお楽しみいただく機能です。

※初期設定は「**STADIUM**」です。

1 DSPボタンを押す

DSP

→ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

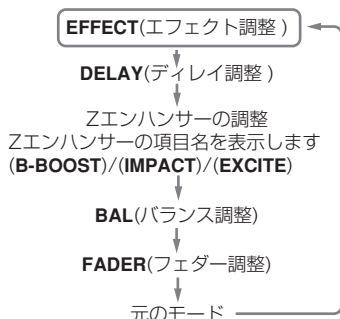
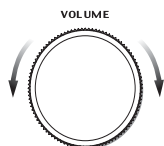
STADIUM(スタジアム)
天井が広い球場のような音場
↓
HALL (ホール)
大ホールのような音場
↓
CLUB (クラブ)
小規模なディスコホールのような音場
↓
CHURCH (チャーチ)
天井が高い大聖堂のような音場
↓
L-ROOM (リスニングルーム)
リスニングルームのような音場
↓
DSP OFF(DSPオフ)
（STADIUMに戻る）

エフェクトを調整する(EFFECT)

エフェクトについて…

エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。本機は反射音の効果量を変えられます。
※DSP機能がONのときに調整できます。

1 オーディオモードボタンを押して、「**EFFECT**」を選ぶ

■M-B EX

→オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

2 ロータリーボリュームを回して、調整する

• エフェクトの調整範囲は、0%～70%です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

■M-B EX

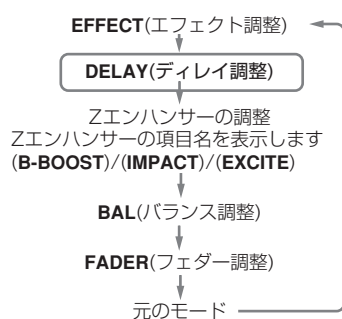
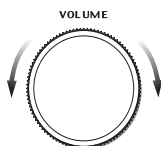
ディレイタイムを調整する(DELAY)

ディレイタイムについて…

ディレイタイムとは、直接音と反射音の時間差のことです。本機はこの時間差を調整することができます。
※DSP機能がONのときに調整できます。

1 オーディオモードボタンを押して、「**DELAY**」を選ぶ

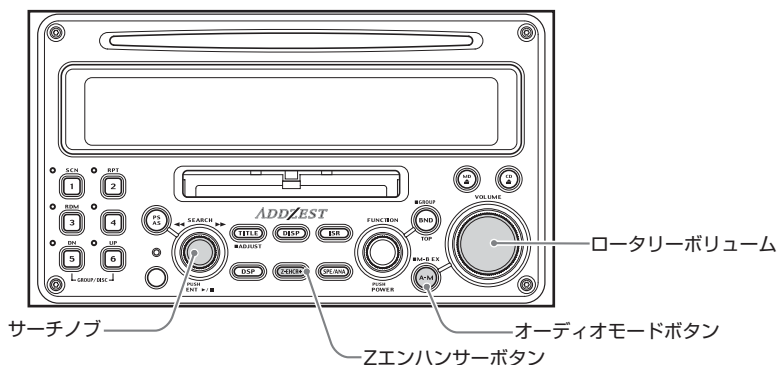
■M-B EX

→オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

2 ロータリーボリュームを回して、調整する

• ディレイタイムｼの調整範囲は、10～200です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

■M-B EX

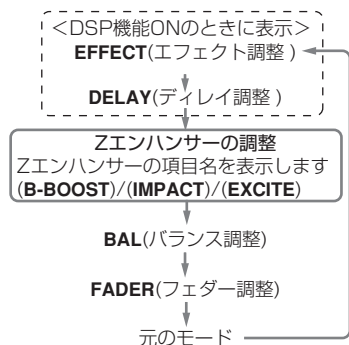
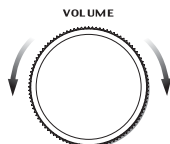
ご注意

効果量を上げすぎると演奏本来の曲のイメージに影響を与える場合があります。

Zエンハンサー量を調整する

ご注意

Zエンハンサー機能が**BASS BOOST**(バスブースト)、**IMPACT**(インパクト)または**EXCITE**(エキサイト)のときに調整できます。

1 オーディオモードボタンを押して、Zエンハンサー調整項目(**B- BOOST/IMPACT /EXCITE**)を選ぶ

→オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

2 ロータリーボリュームを回して、調整する

• 調整範囲は、−3～+3です。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

音質を調整する(バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

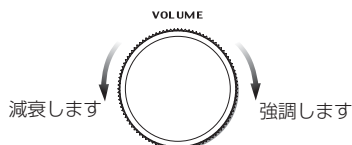
この機能は、Zエンハンサー機能がカスタム(**CUSTOM**)のときに設定できます。

1 Zエンハンサーボタンを押して、「**CUSTOM**」を選ぶ

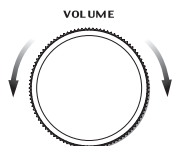
Z-EHCR+

2 オーディオモードボタンを押して、調整項目「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

→オーディオモードボタン押すたびに、次のように切り換わります。

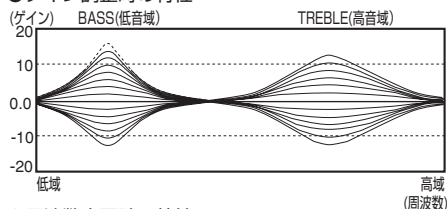
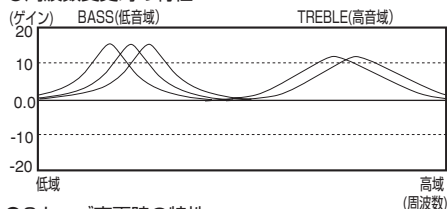
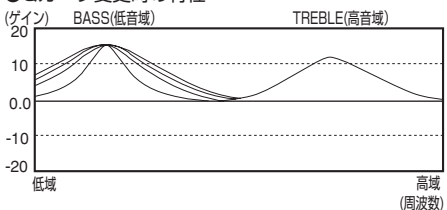
3 ロータリーボリュームを回して「GAIN」(ゲイン)を調整する

- BASS(低音域)/TREBLE(高音域)調整範囲は、−6〜+6です。

4 サーチノブを回して、「FREQ」(周波数)または「Q」(カーブ)を選ぶ

5 ロータリーボリュームを回して、「FREQ」(周波数)または「Q」(Qカーブ)を調整する

- **BASS**(低音域)
  周波数(FREQ) ：60Hz, 100Hz, 200Hz
  Qカーブ(Q) ：1, 1.25, 1.5, 2
- **TREBLE**(高音域)
  周波数(FREQ)： 10KHz, 15kHz
  Qカーブ(Q)：1.4(固定、調整できません)

6 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

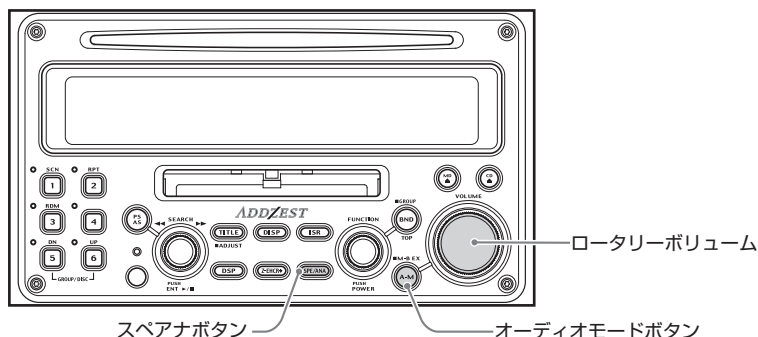
※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してください。

●ゲイン調整時の特性

●周波数変更時の特性

●Qカーブ変更時の特性

※Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

■カスタムの設定値を初期値に戻すには…

Zエンハンサーボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

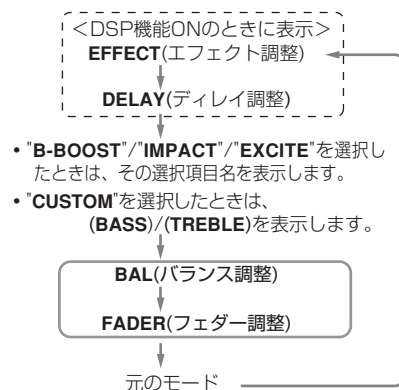
→"**Z+ FLAT**"を表示して、バス / トレブルの設定値が初期値に戻ります。

基本の操作

バランス/フェダーを調整する

1 オーディオモードボタンを押して、「**BAL**」または「**FADER**」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

- "**B-BOOST**"/"**IMPACT**"/"**EXCITE**"を選択したときは、その選択項目名を表示します。
- "**CUSTOM**"を選択したときは、(**BASS**)/(**TREBLE**)を表示します。

2 ロータリーボリュームを回して調整する

●左右のスピーカー(バランス)の調整

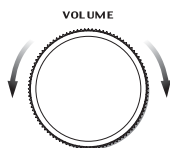
調整範囲は、L13〜R13です。

右に回すと右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

●前後のスピーカー(フェダー)の調整

調整範囲は、F12〜R12です。

右に回すと前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す

スペアナパターンを切り換える

スペクトラムアナライザー(スペアナ)とは…

周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。
本機は、8種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。

1 スペアナボタンを押す

SPE/ANA

→押すたびに、スペアナパターンがパターン1→パターン2・・・パターン9と切り換わります。スペアナパターンについては、次項をご覧ください。

＊スペクトラムアナライザーのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。
- ラジオモード時のシーク選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- 「**NO DISC**」表示中。
- エラー表示中。
- 消音(ミュート)中、一時停止中。

■スペクトラムアナライザーの感度について…

スペクトラムアナライザーの感度(SENSITIVITY)は、パターン表示の感度です。感度を切り換えることで音量が変わることはありません。

初期設定は「**MID**」です。設定のしかたは、「**スペクトラムアナライザーの感度を設定する**(S/A SENS)」(49ページ)をご覧ください。

■スペクアナ表示の速さについて…

スペアナ表示の速さを3種類(**HIGH**、**MID**、**LOW**)に切り換えることができます。
初期設定は「**HIGH**」です。設定のしかたは、「**スペアナ表示の速さを設定する**(S/A SPEED)」(49ページ)をご覧ください。

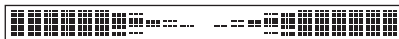
■ディスプレイ表示を消すには…

スペアナボタンを押し続け(約1秒間)てください。

→ディスプレイの全ての表示が消えます。

ディスプレイを消灯することにより、表示用のデータ送信等に起因したノイズを抑制し、音質を向上させることができます。
元の表示に戻すときは、スペアナボタンあるいはディスプレイボタンを押してください。

●スペアナパターンについて

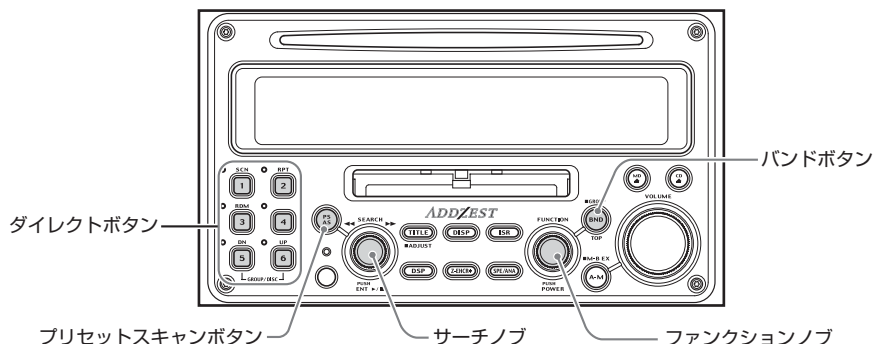
- パターン1
- パターン2

- パターン3
- パターン4
- パターン5
- パターン6
- パターン7
- パターン8

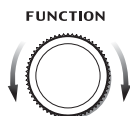
- パターン9

パターン1～8のスペアナパターンを順次切り換えて表示します。

- スペアナオフ

選択モードに応じた選局/選曲等の情報を表示します。

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ

1 ファンクションノブを回して、ラジオモードを選ぶ

FUNCTION

→右または左へ回すたびに、次のように切り換わります。
接続している機器のモードを表示します。

ラジオ←→CD←→MD←→(CDチェンジャー)
↕　　　　　　　　　　　　　↕
AUX←→(TV)←→(DVDチェンジャー)←→(MDチェンジャー)

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

■GROUP

TOP

→バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1→FM2→AM1→AM2
↑________________|

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…
自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1～6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

プリセット選局する

プリセット選局について…
あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 ダイレクトボタン（1〜6）を押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに放送局とプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクトボタンを押し続け（約2秒間）ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

2 サーチノブを回して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたいダイレクトボタン（1〜6）を押し続ける（約2秒間）

→押し続けると「ピー」となり、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動選局する（シーク選局）

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約1秒間）

→ディスプレイの「**MANU** 」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチノブを回す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する（マニュアル選局）

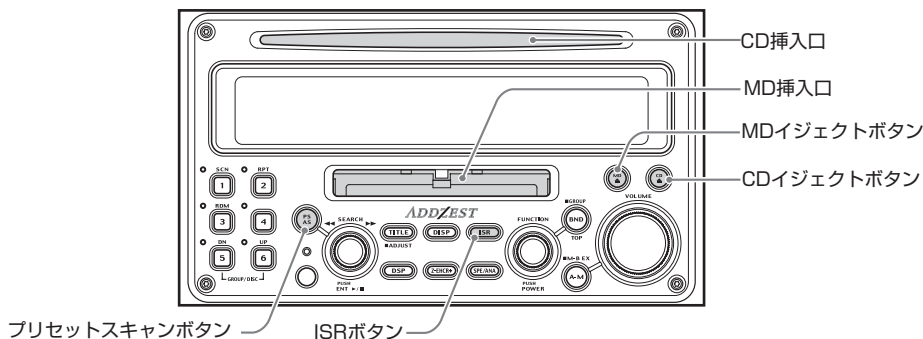
1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける（約1秒間）

→ディスプレイの「**MANU** 」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチノブを回して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチノブを回すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチノブを回し続ける（約1秒間）と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

ラジオ放送を聴く

放送を確かめる（プリセットスキャン）

プリセットスキャンについて…
プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す

→タイトル表示部に「**PRESET SCN** 」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- プリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

プリセットスキャンボタンを押し続ける（約2秒間）とオートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する（ISR機能）

ISR(Instant Station Recall)機能について…
どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。
※初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています

1 ISRボタンを押す

ISR

→初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数「**AM 1620** 」を表示し、ISRに登録されている放送局を選局します。

■ 元のモードに戻すには…

もう1度、ISRボタンを押してください。

■ ISRメモリーに登録するには…

ラジオモードで登録したい放送局を選局し、ISRボタンを押し続け（約2秒間）てください。

→ISRメモリーに登録されます。

CD/MDを聴く

ディスクを入れる

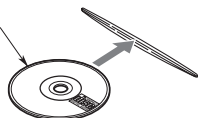
ディスク・イン・プレイ機能について…
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればCDまたはMDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠注 意

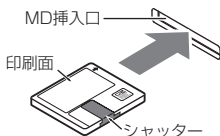
- CD/MD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■CDの場合

1 CD挿入口にCDを入れる

→CDを入れると、演奏が始まります。

- COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークのないCDやCD-ROMは、使用できません。
- CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。
- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- ブランクディスク(未録音 CD-R)を入れた場合、ディスクをイジェクトします。
- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

■MDの場合

1 MD挿入口にMDを入れる

→MDを入れると、演奏が始まります。

- 本機は Mini Disc マーク表示の無いMDは使用できません。
- すでにMDが入っている場合は、入れられません。無理に入れないでください。
- ブランクディスク(未録音 MD)を入れた場合、MDをイジェクトします。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDまたはMDを取り出すことができます。

■CDの場合

1 CDイジェクトボタンを押す

→CDがイジェクトされます。

- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード機能)
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

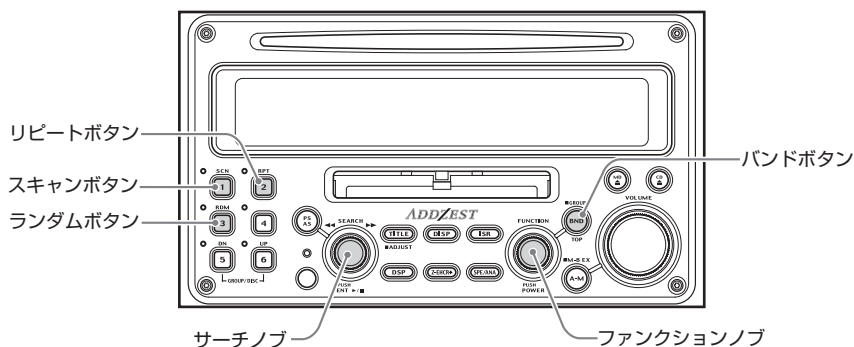
オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

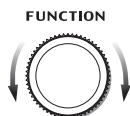
■MDの場合

1 MDイジェクトボタンを押す

→MDがイジェクトされます。

- イジェクトされたMDは、必ず取り出してください。

CD/MDを聴く

すでに入っているディスクを聴く

1 ファンクションノブを回して、CDまたはMDモードを選ぶ

→CDまたはMDモードになると、自動的に演奏が始まります。

ラジオ←→CD←→MD←→(CDチェンジャー)
↕　↕
AUX←→(TV)←→(DVDチェンジャー)←→(MDチェンジャー)

- 接続している機器のモードを表示します。

■ グループ編集MDを聴くには…

本機のグループ機能を「**ON**」にすることにより、グループを優先して聴くことができます。基本的な操作については、「**CD/MDを聴く**」と同じです。また、グループ機能に関連した操作については、「**グループ編集MDを聴く**」(40ページ)をご覧ください。

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチノブを右へ回す

前の曲を聴くときは、サーチノブを左へ回す

→右へ回すと、次の曲が演奏されます。また回した回数だけ先の曲が演奏されます。

→左へ回すと、演奏中の曲を最初から演奏します。回した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチノブを左へ2回まわすと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

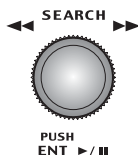
早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチノブを右へ回し続ける

早戻しするときは、サーチノブを左へ回し続ける

演奏を止める(一時停止)

1 サーチノブを押す

PUSH
ENT ►/II

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには...
もう1度、サーチノブを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…
演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 バンドボタンを押す

■GROUP

TOP

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

ご注意

グループ機能ONでグループ編集MDを再生している場合は、演奏しているグループの最初の曲から演奏をはじめます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について…
ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

SCN

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRACK SCAN**」を約2秒間表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■スキャン演奏を解除するには…
もう1度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**SCN**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について…
演奏中の1曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

RPT
2

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRACK RPT**」を約2秒間表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…
もう1度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RPT**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について
ディスクに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

RDM
3

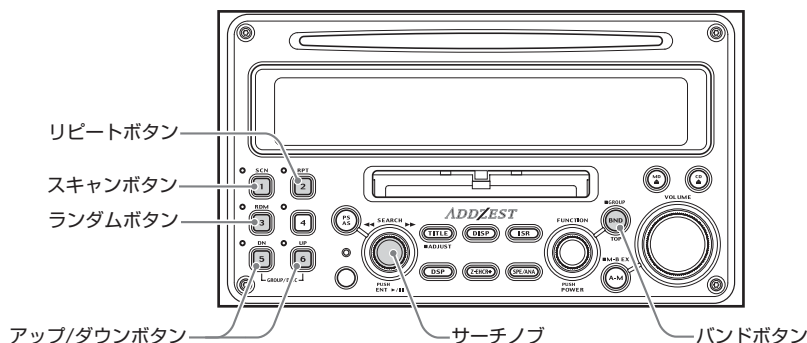
→ディスプレイの「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRACK RDM**」を約2秒間表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…
もう1度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RDM**」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ご注意

グループ機能ONでグループ編集MDを再生している場合は、グループ内の曲を順不同に演奏します。

グループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする

グループ機能について…
グループ機能をONにして、グループ編集MDを再生すると、グループ別の再生が可能となり、チェンジャーのような感覚で操作することができます。
※初期設定は、「**GROUP ON**」です。

1 グループ編集MDを入れる

→ディスプレイの「GROUP」が点灯します。

2 バンドボタンを押し続ける（約1秒間）

→ディスプレイの「GROUP」が点灯します。

- バンドボタンを押し続けるたびに、ON/OFFに切り換わります。
- 通常のMDでは、グループ機能のON/OFFはできません。

■グループ機能OFFのとき…
通常のMDと同様にトラックNO.の順に演奏します。

（例）トラック数が10個あり、3つのグループに編集されたMD

- グループ 1　GROUP A　トラックNo. 2, 3
- グループ 2　GROUP B　トラックNo. 5, 6, 7
- グループ 3　GROUP C　トラックNo. 8, 9
- グループ編集されていない　トラックNo. 1, 4,10

■ グループ機能OFF時に演奏される順番（トラックNo.の順に演奏をします）

グループタイトル		GROUP-A			GROUP-B			GROUP-C		
トラックNo. 表示	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

■ グループ機能ON時に演奏される順番（グループを優先して演奏をします）

グループタイトル	GROUP A		GROUP B			GROUP C		NON GRP (※1)		
グループNo. 表示	G 01		G 02			G 03		G −−		
トラックNo. 表示 (※2)	2	3	5	6	7	8	9	1	4	10

※1 グループ編集されていない曲は、NONグループとしてまとまり、最終グループで演奏します。
※2トラックNo.表示は、順番には並びません。

グループを切り換える

1 アップ/ダウンボタンを押す

DN **5** :前のグループ

UP **6** :次のグループ

→ダウンボタンを押したときは前のグループに、アップボタンを押したときは次のグループに移ります。

■ 曲を選ぶには…

サーチノブを回してください。

聴きたいグループを探す(グループスキャン演奏)

グループスキャン演奏について…

グループ編集MD全グループの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)

SCN **1**

→ディスプレイの「◀▮GROUP」と「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「GROUP SCAN」を表示して、グループスキャン演奏をします。

- グループスキャン演奏は、演奏しているグループの次のグループからはじまります。

■ グループスキャン演奏を解除するには…

もう1度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「◀▮GROUP」と「SCN」が消え、通常の演奏になります。

1つのグループを繰り返し聴く(グループリピート演奏)

グループリピート演奏について…

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

RPT **2**

→ディスプレイの「◀▮GROUP」と「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「GROUP RPT」を表示して、グループリピート演奏をします。

■ グループリピート演奏を解除するには…

もう1度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「◀▮GROUP」と「RPT」が消え、通常の演奏になります。

全グループの演奏をランダムに聴く(グループランダム演奏)

グループランダム演奏について…

グループ編集MDに収録されている全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

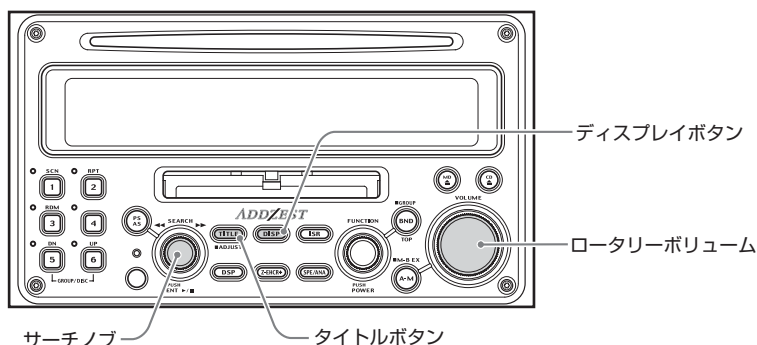
RDM **3**

→ディスプレイの「◀▮GROUP」と「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「GROUP RDM」を表示して、グループランダム演奏をします。

■ グループランダム演奏を解除するには…

もう1度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「◀▮GROUP」と「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

タイトルをつける

タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオ/TVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。（ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時）

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ/TVモード　：30タイトル
- CDモード　：50タイトル
- CDチェンジャーモード
  DCZ625　：100タイトル
  CDR1255z　：50タイトル

1 ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「**USER TITLE**」に設定する

- ラジオ/TVモードのエリアを「**USER TITLE**」に切り換えるには、「**チューナーエリアを設定する**」(51ページ)、「**TVエリアを設定する**」(52ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

DISP

- CDモード、CDチェンジャーモードの場合は、ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)ユーザータイトルに切り換えてください。（27ページ参照）

4 タイトルボタンを押す

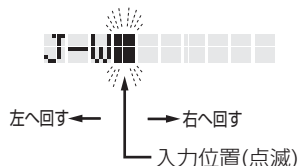
TITLE
■ADJUST

→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力モードになります。

5 サーチノブを回して、入力位置を決める

→点滅している入力位置が左右に移動します。

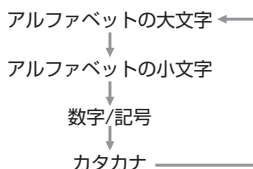
- 入力できる文字数は、10文字です。

次ページに続く

ご注意

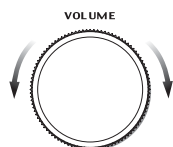
ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

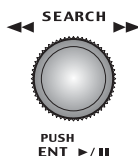
6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ

DISP

→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。

入力文字種類

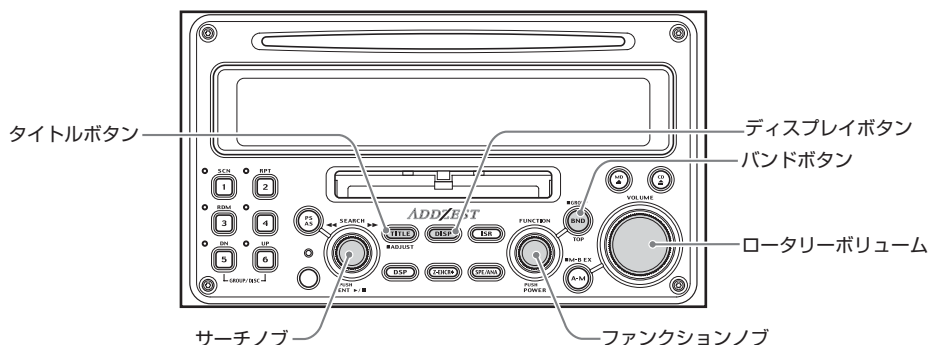
- アルファベット大文字
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
  a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ’ : ; ! ? α * $ % & + − / =( )〈 〉” #
- カタカナ
  ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ゛ ゜ ー「 」

7 ロータリーボリュームを回して、入力文字を決める

8 手順5、6、7を繰り返して、タイトルを入力する

9 サーチノブを押し続ける（約2秒間）

→タイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■ *タイトルメモリーがいっぱいになると…*

- ラジオ局タイトルの場合
  プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
  演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

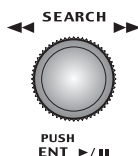
タイトルをつける

イージーインプットをする

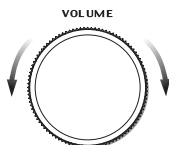
イージーインプットについて…
本機は、チューナー/TVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「**USER TITLE**」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

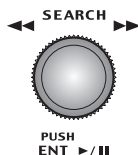
ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

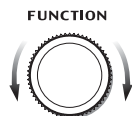
1 ラジオまたはTVモードにしてタイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**TUN AREA E**」または「**TV AREA E**」を選ぶ

3 サーチノブを押す

4 ロータリーボリュームを回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ

- 受信エリアについては、「**チューナーエリアを設定する**」(51ページ)「**TVエリアを設定する**」(52ページ)をご覧ください。

5 サーチノブを押し続ける(約2秒間)

6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

タイトルを削除する

1 ファンクションノブを回して、モードを選ぶ（ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー）

2 削除したいタイトルの放送局を受信するまたはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

4 タイトルボタンを押す

→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力表示になります。

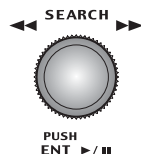
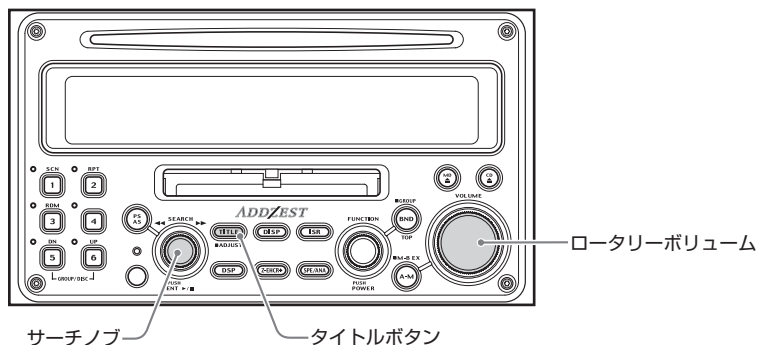
5 バンドボタンを押す

■GROUP
BND
TOP

→タイトルが消えます。

6 サーチノブを押し続ける（約2秒間）

→タイトルが削除されます。

本機の操作

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目名(**CLOCK E** 等)を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチノブを回して、設定項目を選ぶ

- 設定項目は、右図のように切り換わります。
- 末尾に E が表示されている項目名は、サーチノブを押して、設定内容表示に切り換えます。
- 末尾に E の表示がない項目名は、項目を選択してから約2秒後に、設定内容表示に切り換わります。

スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

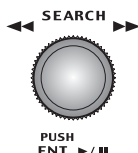
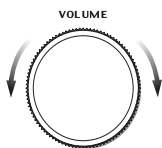
スクリーンセーバーについて…

スクリーンセーバーを「**SS ON**」に設定したときは、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、ディスプレイにスクリーンセーバーメッセージを表示します。

※初期設定は、「**SS ON**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**SCRN SVR E**」を選ぶ

3 サーチノブを押す

4 ロータリーボリュームを回して、「**SS ON**」または「**SS OFF**」を選ぶ

5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

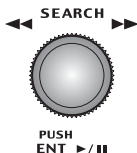
スクリーンセーバーメッセージを入力する(MSG INPUT)

スクリーンセーバーメッセージについて…

本機では英数カナ文字を使用して30文字まで入力することができ、入力したメッセージをスクリーンセーバーとして表示することができます。

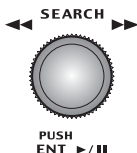
※初期設定は、「**Welcome to**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**MSG INPUT E**」を選ぶ

3 サーチノブを押す

→メッセージ入力モードになります。

4 「タイトルを入力する」(42ページ) の手順5〜7を繰り返して、メッセージを入力する

5 サーチノブを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**MSG MEMORY** 」を表示してメモリーされます。
タイトルボタンを押して元のモードに戻ります。

設定を変更する(アジャストモード)

タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCRL)

タイトルスクロールについて…
タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

※初期設定は、「**ON**」です。

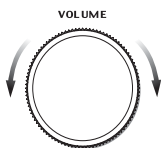
- **ON**　：自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
- **OFF**：タイトルボタンを押すとスクロールします。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

TITLE
■ADJUST

2 サーチノブを回して、「**AUTO SCRL**」を選ぶ

→「**AUTO SCRL**　」を表示した後、「**ON**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**ON**」または「**OFF**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

ディマーについて…
車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。
ディスプレイの照明は、「**ON**」で減光します。

※初期設定は、「**ON**」です。

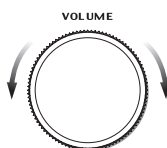
1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**DIMMER**」を選ぶ

→「**DIMMER**」を表示した後、「**ON**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**ON**」または「**OFF**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

TITLE
■ADJUST

スペクトラムアナライザーの感度を設定する(S/A SENS)

スペクトラムアナライザー感度(SENSITIVITY)について…

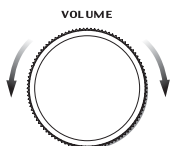
スペアナ感度は、パターン表示の感度です。本機は、3種類(HIGH,MID,LOW)の感度に切り換えることができます。

※初期設定は、「**MID**」です。
スペアナ感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**S/A SENS**」を選ぶ

→「**S/A SENS**」を表示した後、「**MID**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**HIGH**」、「**MID**」または「**LOW**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

スペアナ表示の速さを設定する(S/A SPEED)

スペアナ表示の速さ(S/A SPEED)について…

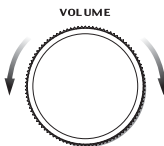
スペアナ表示の速さは、パターンの切り換え表示の速さです。3種類(HIGH,MID,LOW)の速さに切り換えることができます。

※初期設定は、「**HIGH**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**S/A SPEED**」を選ぶ

→「**S/A SPEED**」を表示した後、「**HIGH**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**HIGH**」、「**MID**」または「**LOW**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

設定を変更する(アジャストモード)

ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

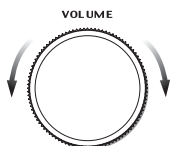
ビープ音について…
操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

※初期設定は、「**ON**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**BEEP**」を選ぶ

→「**BEEP**」を表示した後、「**ON**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**ON**」または「**OFF**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

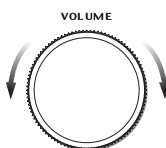
主音声(MAIN)/副音声(SUB)について…
TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。(TVチューナー接続時)

※初期設定は「**TV MAIN**」です。

1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**MAIN/SUB**」を選ぶ

→「**MAIN/SUB**」を表示した後、「**TV MAIN**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**TV MAIN**」または「**TV SUB**」を選ぶ

TV MAIN ：主音声を再生します。
TV SUB ：副音声を再生します。

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

チューナーエリアを設定する(TUN AREA)

チューナーエリアについて…

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

※初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域関東)です。

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE** 」にしてください。
  また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルを入力する**」(42ページ)をご覧ください。

イージーインプット機能について…

チューナーエリアを選択してから、サーチノブを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

TITLE
■ADJUST

2 サーチノブを回して、「**TUN AREA E**」を選ぶ

3 サーチノブを押す

4 ロータリーボリュームを回して、チューナーエリアを選ぶ

→回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次の11種類から選ぶことができます。

●チューナーエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
ホッカイドウ	北海道
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

5 サーチノブを押して、設定項目表示に戻る

6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

本機の操作

設定を変更する(アジャストモード)

TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて…

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

※初期設定は、「**カントウ**」(関東)です。

- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE** 」にしてください。
  また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルを入力する**」(42ページ)をご覧ください。

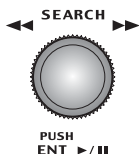
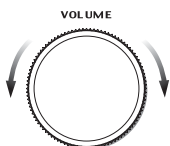
イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、サーチノブを押し続けると(約2秒間)、選択したテレビエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

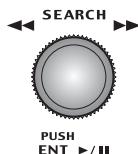
TITLE
■ADJUST

2 サーチノブを回して、「**TV AREA E**」を選ぶ

3 サーチノブを押す

4 ロータリーボリュームを回して、TVエリアを選ぶ

→回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次の22種類から選ぶことができます。

●TVエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

5 サーチノブを押して、設定項目表示に戻る

6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

TITLE
■ADJUST

TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

※初期設定は「**ON**」です。

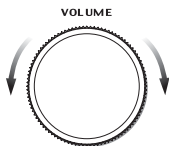
- TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「**OFF**」に設定し直してください。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

TITLE
■ADJUST

2 サーチノブを回して、「**TV DIVER**」を選ぶ

→「**TV DIVER**」を表示した後、「**ON**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**ON**」または「**OFF**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

携帯用オーディオ(AUXモード)の入力レベルを設定する(AUX SENS)

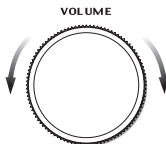
本機に接続された市販のヘッドホンステレオの入力レベルを設定します。

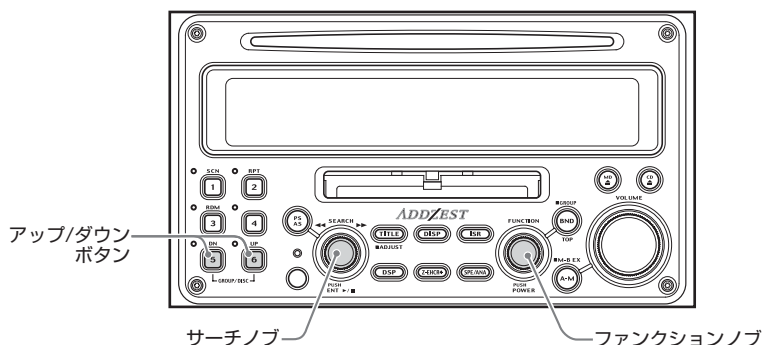
※初期設定は、「**MID**」です。

1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

2 サーチノブを回して、「**AUX SENS**」を選ぶ

→「**AUX SENS**」を表示した後、「**MID**」等を表示します。

3 ロータリーボリュームを回して、「**HIGH**」、「**MID**」または「**LOW**」を選ぶ

4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

CD/MD/DVDチェンジャーを操作する

CD/MDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCD/MDチェンジャーを接続すると、本機でCD/MDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

DVDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のDVDチェンジャーを接続すると、本機でDVDチェンジャーをコントロールすることができます。また、DVDを見るためには、別販のモニターが必要です。

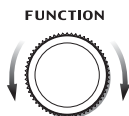
- 本機による操作および表示は簡易的なもので、DVDチェンジャーの全機能には対応していません。DVDチェンジャーの操作は、DVDチェンジャーに付属のリモコンを使用して操作します。詳しくは、DVDチェンジャーに付属の「取扱説明書」をご覧ください。

■2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは…

ファンクションノブを回して、接続したチェンジャーを選択してください。(ファンクションノブを回すたびに切り換わります。)

- DVD/CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG** 」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「**NO DISC** 」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「**NO DISC** 」と表示されます。
- タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(27ページ)をご覧ください。

チェンジャーモードを選ぶ

1 ファンクションノブを回して、チェンジャーモードを選ぶ

→チェンジャーモードになると、自動的に演奏が始まります。

ラジオ↔CD↔MD↔(CDチェンジャー)
↕ ↕
AUX↔(TV)↔(DVDチェンジャー)↔(MDチェンジャー)

- 接続している機器のモードを表示します。

聴きたいディスクを選ぶ

1 前のディスクを聴くときは、ダウンボタンを押す

次のディスクを聴くときは、アップボタンを押す

DN 5 :前のディスク

UP 6 :次のディスク

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチノブを右へ回し続ける

早戻しするときは、サーチノブを左へ回し続ける

曲を選ぶ

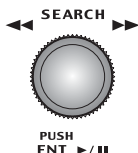
1 次の曲を聴くときは、サーチノブを右へ回す

前の曲を聴くときは、サーチノブを左へ回す

→右へ回すと、次の曲が演奏されます。また回した回数だけ先の曲が演奏されます。

左へ1回回すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに回すと、回した回数だけ前の曲が演奏されます。

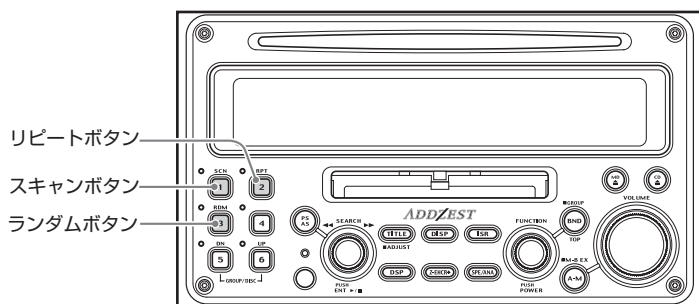
- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチノブを左へ2回まわすと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止)

1 サーチノブを押す

→タイトル表示部に「**PAUSE** 」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには…

もう1度、サーチノブを押してください。

CD/MD/DVDチェンジャーを操作する

聴きたい曲を探す（スキャン演奏）

スキャン演奏について…

チェンジャー内のディスクの全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRACK SCAN** 」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ スキャン演奏を解除するには…

もう1度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**SCN**」が消え、いま演奏している曲から演奏します。

聴きたいディスクを探す（ディスクスキャン演奏）

ディスクスキャン演奏について…

チェンジャー内のディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 スキャンボタンを押し続ける（約1秒間）

SCN
1

→ディスプレイの「**DISC ▶**」と「**SCN**」が点灯し、タイトル表示部に「**DISC SCAN** 」を表示して、ディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■ ディスクスキャン演奏を解除するには…

もう1度、スキャンボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC ▶**」と「**SCN**」が消え、通常の演奏になります。

1曲を繰り返し聴く（リピート演奏）

リピート演奏について…
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押す

RPT
2

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRACK RPT**」を表示して、リピート演奏をします。

■ リピート演奏を解除するには…
もう1度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RPT**」が消え、通常の演奏になります。

1枚のディスクを繰り返し聴く（ディスクリピート演奏）

ディスクリピート演奏について…
演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 リピートボタンを押し続ける（約1秒間）

RPT
2

→ディスプレイの「**DISC ▶**」と「**RPT**」が点灯し、タイトル表示部に「**DISC RPT**」を表示して、ディスクリピート演奏をします。

■ ディスクリピート演奏を解除するには…
もう1度、リピートボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC ▶**」と「**RPT**」が消え、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く（ランダム演奏）

ランダム演奏について…
演奏中のCD（またはMD）の全曲を順不同に演奏します。

1 ランダムボタンを押す

RDM
3

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**TRACK RDM**」を表示して、ランダム演奏をします。

■ ランダム演奏を解除するには…
もう1度、ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

全ディスクの演奏をランダムに聴く（ディスクランダム演奏）

ディスクランダム演奏について…
チェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

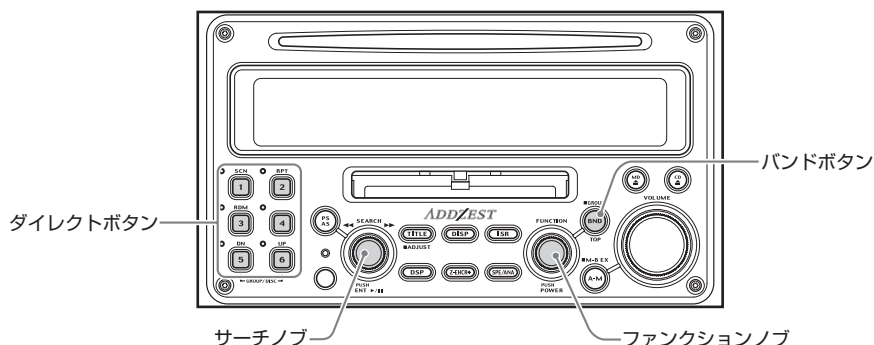
1 ランダムボタンを押し続ける（約1秒間）

RDM
3

→ディスプレイの「**DISC ▶**」と「**RDM**」が点灯し、タイトル表示部に「**DISC RDM**」を表示して、ディスクランダム演奏をします。

■ ディスクランダム演奏を解除するには…
もう1度。ランダムボタンを押してください。

→ディスプレイの「**DISC ▶**」と「**RDM**」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

⚠ 警 告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(53ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(52ページ)で受信エリアを設定してください。

TVモードを選ぶ

1 ファンクションノブを回して、TVモードを選ぶ

→押すたびに、次のようにモードが切り換わります。
接続している機器のモードを表示します。

ラジオ↔CD↔MD↔(CDチェンジャー)
↕　　　　　　　　　　　↕
AUX↔(TV)↔(DVDチェンジャー)↔(MDチェンジャー)

受信バンドを切り換える

1 バンドボタンを押して、TV1またはTV2を選ぶ

→押すたびに、バンドが切り換わります。

TV1 → TV2 (→ TV1)

自動選局する(シーク選局)

1 「**MANU**」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**MANU**」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチノブを回す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「**MANU**」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)

■GROUP
BND
TOP

→ディスプレイの「**MANU**」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチノブを回して、放送のあるところに合わせる

プリセット選局する

プリセット選局ついて…
あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

1 ダイレクトボタン(1〜6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

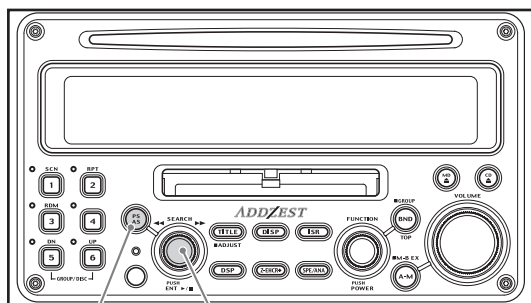
プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…
プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

1 バンドボタンを押してメモリーしたいバンド(TV1またはTV2)を選ぶ

2 サーチノブを回して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1〜6)を押し続ける(約2秒間)

→押し続けると「ピー」と鳴り、その時、押したダイレクトボタンに登録されます。

自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信したチャンネルを自動的にプリセットメモリーします。

1 プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1～6)にメモリーされていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンついて…

プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されているチャンネルを順に受信します。

1 プリセットスキャンボタンを押す

→タイトル表示部に「**PRESET SCN**」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- プリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

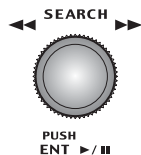
プリセットスキャンボタンを押し続ける(約2秒間)とオートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。

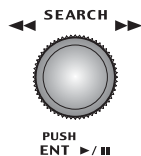
→ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

ステレオ/モノラル音声を切り換える

1 サーチノブを押し続ける（約1秒間）

→押すたびに、ステレオ音声(**STEREO**)とモノラル音声(**MONO**)を切り換えます。

ビデオを見る

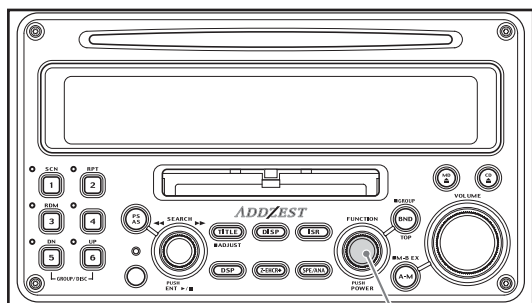
この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

1 サーチノブを押す

→TVモードからVTRモードに切り換わります。
TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

■TVモードに戻すには…

もう一度、サーチノブを押してください。

外部機器の操作

その他の外部機器を操作する

携帯用オーディオを聴く(AUXモード)

AUXモードについて…
本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。
別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 ファンクションノブを回して、AUXモードを選ぶ

→回すたびに、次のように切り換わります。
AUXモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

ラジオ↔CD↔MD↔(CDチェンジャー)
↕　↕
AUX↔(TV)↔(DVDチェンジャー)↔(MDチェンジャー)

■入力レベルを調整するには…
「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」(53ページ)をご覧ください。

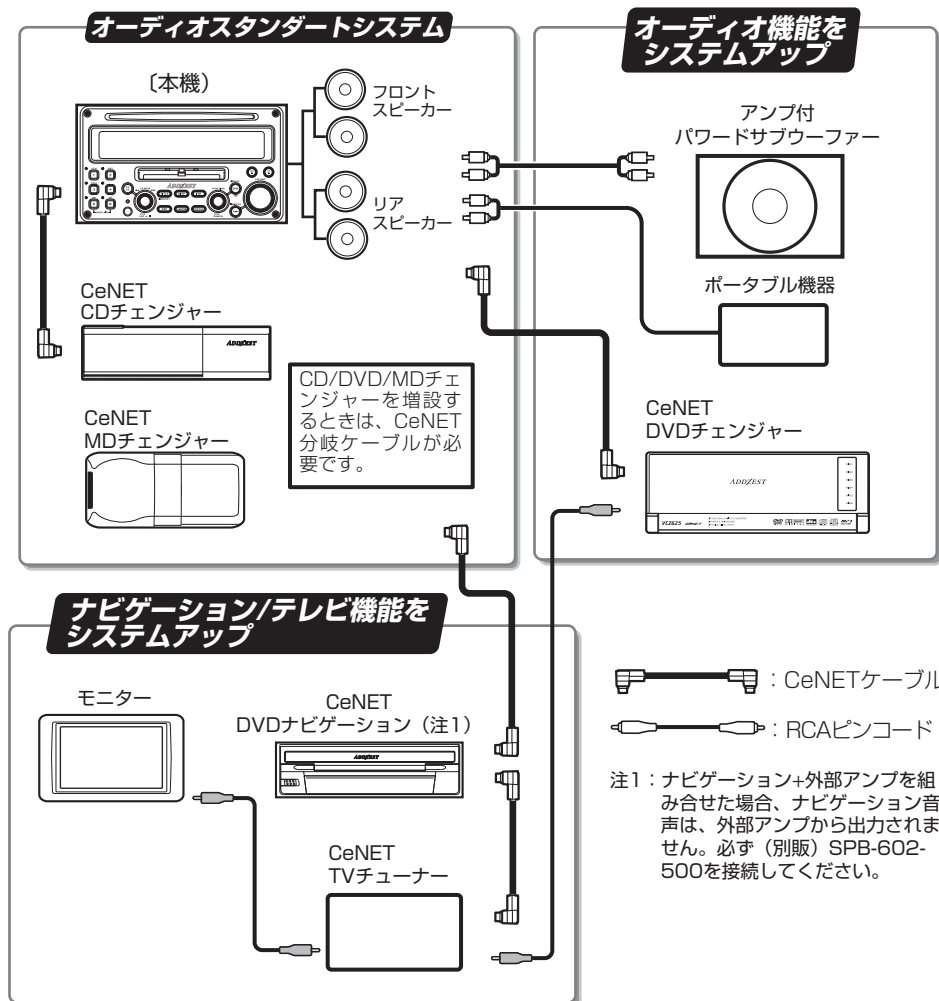
■AUX入力の接続のしかた
本機のAUX入力RCAピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

システムアップについて

本機はCeNETマークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

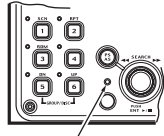
また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

注1：ナビゲーション+外部アンプを組み合せた場合、ナビゲーション音声は、外部アンプから出力されません。必ず（別販）SPB-602-500を接続してください。

その他

システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

■CeNET接続ケーブル長一覧表

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET DVDチェンジャー	5m　<オス⇔オス>
CeNET CDチェンジャー	5m　<オス⇔オス>
CeNET MDチェンジャー	5m　<オス⇔オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m　<オス×2⇔メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m<オス⇔メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m<オス⇔メス>

<>内は、コネクターの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現　象	原　因	処　置
共通	電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています。	音量をもう少し絞ってお聞きください。 再度、短時間で音が出なくなる場合は弊社修理相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
MD	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出てしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上に、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
その他	ディスプレイに「**エラー表示**」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「**エラー表示について**」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
CDモード	ERROR2	ディスクが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
MDモード	ERROR2	MDメカが故障しているときの表示	MDメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR H	MDメカの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDメカの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のディスクがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャー内のメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
DVDチェンジャー	ERROR2	DVDチェンジャー内のディスクがローディングできないときの表示	DVDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR P	パレンタルレベルエラー	パレンタルレベルを正しく設定してください。
	ERROR R	リージョンコードエラー	リージョンコードの正しいディスクを入れてください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■CDプレーヤー部

周波数特性　：10Hz～20kHz±1dB
SN比　：100dB
ダイナミックレンジ　：95dB
高調波ひずみ率　：0.01%

■MDプレーヤー部

周波数特性　：20Hz～20kHz
SN比　：90dB
ダイナミックレンジ　：85dB
高調波ひずみ率　：0.01%（1kHz）

■FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　：9dBf
50dBクワイティング感度：15dBf
SN比　：70dB
周波数特性　：30Hz～15kHz±3dB
分離度　：35dB（1kHz）
高調波ひずみ率　：0.3%（1kHz）

■AMチューナー部

受信周波数　：522kHz～1,629kHz
実用感度　：28dBμV
SN比　：50dB

■AUX部

入力感度
　LOW　：650mV(2V出力時)
　MID　：1.3V(2V出力時)
　HIGH　：2.0V(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力　：17W×4（20Hz～20kHz、1%、4Ω）
最大出力　：50W×4
適合インピーダンス：4Ω（4Ω～8Ω）
2バンドEQ
　BASS（60/100/200Hz）：±15dB
　TREBLE（10k/15kHz）：±12dB
マグナベースEX：＋10dB（50Hz）
（音量ステップ 14）
ラインアウト出力レベル　：2.0V（CD1kHz）

■Zエンハンサープラス/DSP部

Zエンハンサープラス（5モード）
　：BASS BOOST
　IMPACT
　EXCITE
　CUSTOM
　Z+ OFF
DSP（5モード）
　：STADIUM
　HALL
　CLUB
　CHURCH
　L-ROOM
　DSP OFF

■共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：3.0A（1W時）
ヒューズ定格　：15A/3A
外形寸法
　：178（W）×100（H）×180.5（D）mm
　（取付寸法：156.5（D）mm）
質量　：2.2kg

■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 8本
- サラネジ（M5×8） 8本

＊これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品

その他

アフターサービスについて

■保証書
この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間
お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について
修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本　　社〒112-0001　東京都文京区白山5-35-2
お客様相談室TEL.　0120 -112 -140 (フリーダイヤル)
(土・日・祝・祭日を除く　9：00〜12：00、
13：00〜17：30)

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製 造 番 号	

お客様へ……ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
お問い合わせされるときに便利です。

Printed in China　2004/3　PA-4081A　280-8017-00